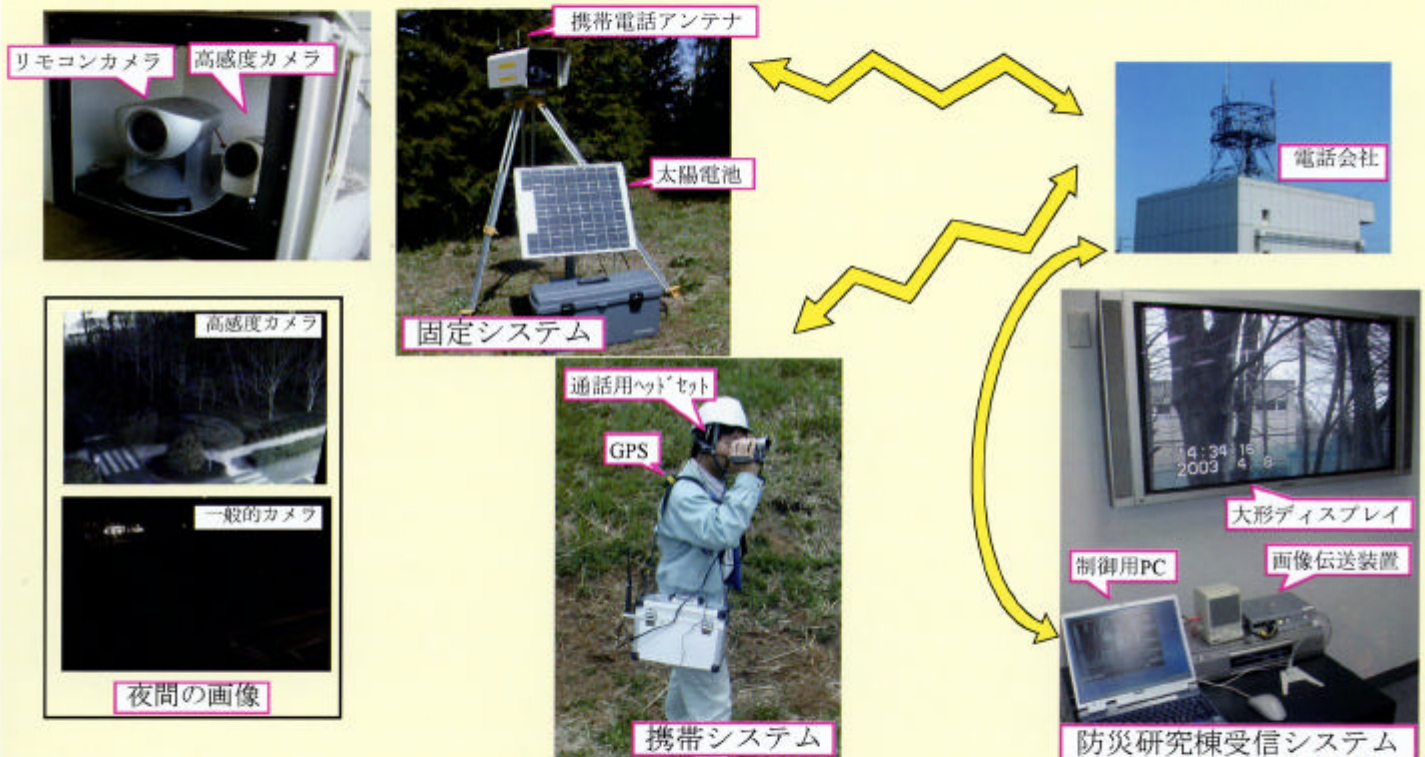


防災カメラシステム

災害対策の研究、災害発生時の活動の技術的支援を目的として、現場の状況を農業工学研究所防災研究棟にリアルタイムに伝えるための画像伝送システムを開発しました。現場に設置して遠隔操作で撮影する固定システム、軽量化した携帯システムと防災研究棟受信システムとから構成されており、突発的な事態にも機動的に対応できるように、以下のような特長をもっています。

- ① 軽量のパッケージ化により、誰でも容易に運用できる。
- ② 電話回線、衛星回線などの多様な通信回線に対応。
- ③ 画像と同時に通話、観測データの伝送が可能。
- ④ 高感度カメラを使用して夜間撮影が可能。
- ⑤ 省電力化により、小型太陽電池で長期運用が可能。



主な諸元

カメラ

固定システム用（防雨型ハウジング付き）

- (1) リモコンカメラ：1/4" CCD有効画素数38万、最低照度6lx
パン、チルト、ズーム（最大16倍）の遠隔操作可能
- (2) 蓄積型高感度カメラ：1/3" CCD有効画素数38万、最低照度0.005lx

携帯システム用：デジタルビデオカメラ

電源

固定システム用：蓄電池＋太陽電池、AC電源
画像伝送装置の遠隔起動可能

携帯システム用：蓄電池、カーバッテリー

画像伝送装置

使用可能回線：一般公衆回線(33.6kbps)、ISDN回線(64/128kbps)、携帯電話回線(9.6kbps) [標準的手段]、PHS(64kbps)、FOMA(64kbps)、衛星電話(4.8kbps)、通信衛星(64kbps)

多重伝送：音声、接点信号
シリアルデータ（カメラ制御、GPS、観測データ等）

画像サイズ：解像度（640×480、320×240、160×120dot）、JPEGデータ圧縮度3段階

本部での画像出力

ディスプレイ映写、ビデオ録画、ファイル保存